

# 令和8年度 農村RMO中央研修会(基本コース) カリキュラム

日時:令和8年9月10日(木)~11日(金)

場所:TKP新橋カンファレンスセンター

【1日目】 9月10日 (木)	開場	12:00	12:50	13:00	14:30	14:45	15:55	16:10	17:20	17:30	18:10	
		開会式	研修① <講義・全員参加>		休憩 移動	研修② <講義・選択制>		休憩	研修③ <講義・選択制>		休憩 移動	研修④ <交流会・全員参加>
		オリエンテーション・開会式	農村RMOで未来を拓く～人や組織が暮らしてつながり、協働し、多様な地域課題を解決する～	基本コース①		超基礎編(1年目、農村RMOの形成推進を今後図ろうとする地域向け)	基本コース④		違いを超えてつながれるコミュニケーション～グラフィックファシリテーションのメカニズムを活用した対話の魔法～	●ポスターセッション交流タイム、名刺交換会 ●関連施策紹介等		
				基本コース②		合意形成、話し合いの進め方	基本コース⑤		地域全体で進めるためのビジョン形成			
		10分	90分	15分	70分	15分	70分	10分	40分			
		事務局	講師:内閣府地域活性化伝道師 有限会社ウィルビー 代表取締役 志村 尚一 氏 一般社団法人グラフィックファシリテーション協会 代表理事 山田 夏子 氏 特定非営利活動法人都岐沙羅パートナーズセンター 理事・事務局長 斎藤 主税 氏 合同会社ひとむすび 代表社員 山田 芳雅 氏 NPO法人みんなの集落研究所 専務理事・上席研究員 小野 賢也 氏 株式会社JT総合研究所 研究員 橋本 惇 氏 ※法人格、事務局除いてあいうえお順に記載									

【2日目】 9月11日 (金)	開場	8:30	9:00	10:00	10:10	10:40	12:00	13:00	14:30	14:50	15:00
		研修⑤ <講義・全員参加>		休憩	研修⑥ <ワークショップ・全員参加>		昼食休憩	研修⑥ <ワークショップ・全員参加>		閉会式	
		60分	10分		30分	80分		60分	90分	20分	10分
		農村RMOは誰と、どう活動を組み立てたらよいか		ファンリテーションの技術や村づくりの戦略等について学ぶ	農地一筆毎の未来予想図を描く	村づくりのストーリー化		まとめ講評	閉会式		
講師:弘前大学大学院 地域社会研究科 教授 平井 太郎 氏 研修サポート:吉縁起村協議会、勢和農村RMO協議会 ほか										事務局	

※カリキュラムの時間及び内容は変更になる場合がございますのでご了承下さい

## 令和8年度農村RMO中央研修会（基本コース）カリキュラムの概要

### ■カリキュラム構成

- ・ 農村 RMO 形成推進事業が創設5年目を迎え、初年度実施地区と3年間の事業期間を終えた地区では取組の熟度や必要な情報が異なることから、地区の活動段階（熟度）に応じた研修内容とし、必要なスキルを学べる場とします。
- ・ コースは選択制とし、自地域の取組状況に応じて選択可能とします。  
（例：応用コースの想定対象者でも、基本コースは受講可能）
- ・ カリキュラムの具体的な内容は次頁以降をご参照ください。

	基本コース（9月開催）	応用コース（12月開催）
対象者 （想定）	<ul style="list-style-type: none"><li>● 農村 RMO モデル形成支援実施1年目から2年目の地区の構成員</li><li>● 今後農村 RMO 形成に取り組もうとしている地域の関係者</li><li>● 本年度初めて農村 RMO 担当になった行政職員等</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 農村 RMO モデル形成支援実施3年目及び3年間の実施期間を終えた地区の構成員</li><li>● 農村 RMO 中央研修会に過去参加した方</li><li>● 伴走支援に取り組んでいる中間支援組織等</li></ul>
内容	<ol style="list-style-type: none"><li>① 農村 RMO 形成の基礎を学ぶ</li><li>② 立上期～形成期にかけてつまづくポイントについて解法を学ぶ</li><li>③ 自地域の現状を可視化して把握する</li></ol>	<ol style="list-style-type: none"><li>① 自主財源・運営資金確保に向けた事業多角化の事例を学ぶ</li><li>② 伴走支援の効果的な仕組み方を学ぶ</li></ol>
ねらい	<ul style="list-style-type: none"><li>● 農村 RMO 形成の考え方を知り、形成のステップを具体的に理解する</li><li>● 自地域の現状を把握し将来ビジョンを描く</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 多様な地域特性に対応可能な支援の在り方を理解する</li><li>● 収益事業化や人材活用等、次世代への承継を見据えた仕組みを知る</li></ul>

## ■カリキュラム内容

### 【研修①】 講義 90分 <全員参加>

講義：「農村 RMO で未来を拓く～人や組織が暮らしでつながり、協働し、多様な地域課題を解決する～」

講師：内閣府地域活性化伝道師 有限会社ウィルビー 代表取締役 志村 尚一 氏

### 【研修②】 講義 70分 <選択制>

講義：以下の第1～3分科会の中から選択して受講いただきます。

申込みフォームに、希望する分科会を第2希望までご記入ください。各分科会の定員を超えた場合は、事務局にて調整させていただきますので、あらかじめご了承ください。

<p>基本コース 第1分科会</p>	<p>超基礎編（農村 RMO モデル形成支援実施1年目の地区、農村 RMO の形成推進を今後図ろうとする地域向け） 講師：株式会社 JTB 総合研究所 研究員 橋本 惇 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農村 RMO 形成推進の手引き「<a href="#">みんなでつくろう農村地域の未来</a>」をもとに、農村 RMO の概要や、取組のヒントなどを紹介します。</li> <li>全国各地の農村 RMO から教えてもらったコツ・留意点などをもとに「こんなとき、どうする？」を一緒に考えます。</li> </ul>
<p>基本コース 第2分科会</p>	<p>合意形成、話し合いの進め方 講師：NPO 法人みんなの集落研究所 専務理事・上級研究員 小野 賢也 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域内の理解を得る方法や、新たな住民の参画を見据えた会議の進め方、また「見える化」による合意形成の利点など、地域における話し合いの進め方について基礎的な内容を紹介します。</li> <li>事例紹介等の話を踏まえて、参加者同士の意見交換を行います。</li> </ul>
<p>基本コース 第3分科会</p>	<p>地域の仕事を分解する ～農村 RMO を支える事務局補佐・若者・外部人材の育て方～ 講師：合同会社ひとむすび 代表社員 山田 芳雅 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農村 RMO の活動を継続するために、地域の仕事を一人に集中させず、分解して担い手を増やす考え方を学びます。</li> <li>事務局補佐、若者の参加、地域外の専門人材の活用など、現場で取り入れやすい工夫を事例とともに紹介します。</li> <li>立上期から定着期にかけて起こりやすい事務負担や担い手不足の課題を踏まえ、地域内外の人材が関わり続けられる運営体制づくりのポイントを共有します。</li> </ul>

**【研修③】 講義 70分 <選択制>**

講義：以下の第4～6分科会の中から選択して受講いただきます。

申込みフォームに、希望する分科会を第2希望までご記入ください。各分科会の定員を超えた場合は、事務局にて調整させていただきますので、あらかじめご了承ください。

<b>基本コース 第4分科会</b>	<b>違いを超えてつながれる コミュニケーション</b> ～グラフィックファシリテーションのメカニズムを活用した対話の魔法～ 講師：一般社団法人グラフィックファシリテーション協会 代表理事 <b>山田 夏子 氏</b>  <ul style="list-style-type: none"><li>・ 住民同士が、主体的に合意形成するためには（お互いが納得して決めるためには）、どんな話し合いが必要だと思いますか？議論と対話は違うのでしょうか？</li><li>・ 日常のコミュニケーションを豊かにし、お互いの違いを生かし合うためのメカニズムを解説し、ワークを交えながら、そのエッセンスを体感していただきます。</li></ul>
<b>基本コース 第5分科会</b>	<b>地域全体で進めるためのビジョン形成</b> 講師：NPO 法人みんなの集落研究所 専務理事・上級研究員 <b>小野 賢也 氏</b>  <ul style="list-style-type: none"><li>・ まちづくり計画の策定や農村 RMO のビジョン共有など、一部の住民や地区だけに限定した活動に終わらせないためのビジョンづくりについて、地域の実践や支援の事例を踏まえながら解説します。</li><li>・ 事例紹介等の話を踏まえて、参加者同士の意見交換を行います。</li></ul>
<b>基本コース 第6分科会</b>	<b>農村 RMO が自立・自走していくための支援のポイント</b> 講師：特定非営利活動法人都岐沙羅パートナーズセンター <b>理事・事務局長 齋藤 主税 氏</b>  <ul style="list-style-type: none"><li>・ 単に、計画をつくり、組織を立ち上げるだけでは、農村 RMO は機能しません。農村の持続可能性を高める推進母体として農村 RMO を機能させるには、地域側に「実情に即した進化」を促すことがとても大切です。</li><li>・ 進化を促すために支援者は何をすべきか（何をしてはいけないか）。農村 RMO 形成における支援のポイントを、事例を交えながら解説します。</li></ul>

**【研修④】 交流会 40分 <全員参加>**

<ul style="list-style-type: none"><li>・ポスターセッション交流タイム、名刺交換会</li><li>・関連施策紹介等</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・参加地区の活動内容をポスターとして会場に展示します。また、活動内容や地域を紹介する資料やチラシ、特産品などご自由に展示していただき、参加者同士が交流していただきます。</li><li>・農村RMOの活動に係る各府省（内閣府、総務省、文部科学省、厚生労働省、国土交通省、環境省及び農林水産省）の関連施策について紹介します。</li></ul>

**【研修⑤】 講義 60分 <全員参加>**

<p>講義：「農村RMOは誰と、どう活動を組み立てたらよいか」</p> <p>講師：弘前大学大学院 地域社会研究科 教授 平井 太郎 氏</p>
<ul style="list-style-type: none"><li>・農村RMOの活動に当たり、その効果的な仕組み方について学びます。</li><li>・講師による具体の事例紹介を踏まえ、地域づくりに当たっての現状把握、ストーリー化等、取組のポイントや課題の共有等を行います。</li></ul>

**【研修⑥】 ワークショップ 220分 <全員参加>**

<p>講義：「ファシリテーションの技術や村づくりの戦略等について学ぶ」</p> <p>講師：弘前大学大学院 地域社会研究科 教授 平井 太郎 氏</p>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ワークショップにより、ファシリテーションの技術や村づくりの戦略等について学びます。</li><li>・研修内容は、過年度と同じ内容になりますが、過年度にご参加いただいた方には、ワークショップにおけるファシリテーターとしての役割を期待します。</li><li>・農村RMOの形成推進に取り組む地域の皆さんで知恵や経験を共有し、励まし合う仲間づくりを目指します。</li></ul>

<全体留意事項>

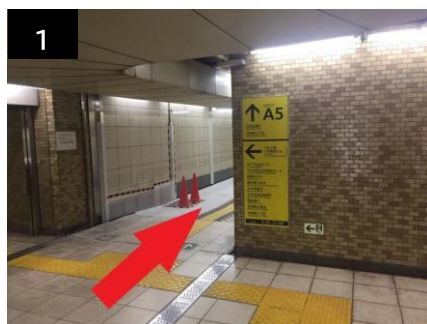
- ※ スケジュールの詳細はカリキュラムをご参照ください。
- ※ カリキュラムの時間及び内容は変更になる場合がありますのでご了承ください。



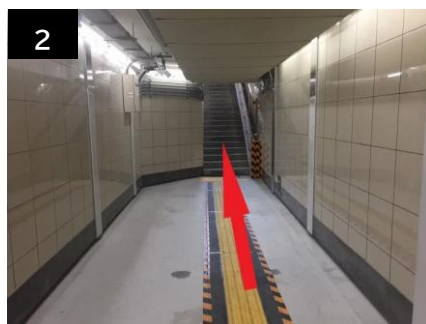
**TKP新橋  
カンファレンスセンター**  
 東京都千代田区内幸町 1-3-1  
 幸ビルディング 10～16階  
 (事務所: 12階)

- ◆ 住所 〒100-0011  
東京都千代田区内幸町1丁目3-1  
幸ビルディング 10-16階
- ◆ アクセス
  - 都営三田線 内幸町 A5出口 徒歩1分
  - JR線 新橋駅 日比谷口 徒歩7分
  - 東京メトロ銀座線 新橋駅 7番出口 徒歩7分
  - 都営浅草線 新橋駅 7番出口 徒歩7分
  - 東京メトロ 霞ヶ関駅 C4 徒歩8分

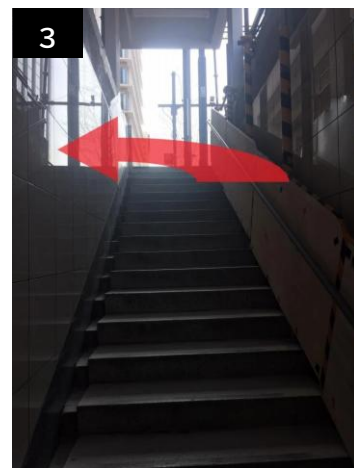
◆ 都営三田線 内幸町駅(A5出口)からの経路



改札を出ましたらA5出口方面へお進みください



A5出口へ真っ直ぐお進みください



地上に出ましたら、左にお進みください。進んで正面のビルが会場です。正面よりお入りください(奥にTKPの看板があります。)